



議会だより



6校最後の体育祭

野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭

令和5年9月定例会・臨時会

あらし・決算状況	2
予算決算審査特別委員会・決算の意見	4
予算決算審査特別委員会・議案審議・人事案件	6
臨時会・各議長杯の結果・一般質問目次	8
一般質問 8人が登壇	10
委員会レポート	18
わたしたちの町(千里小・吾妻小)	20



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



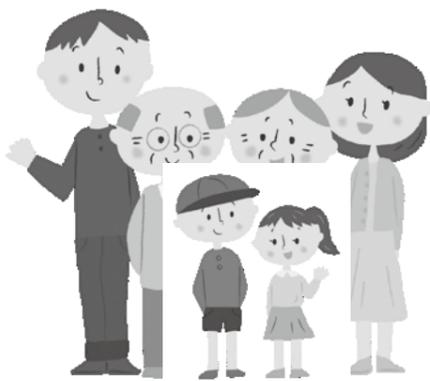
App Store



Google Play

令和4年度 決算を認定

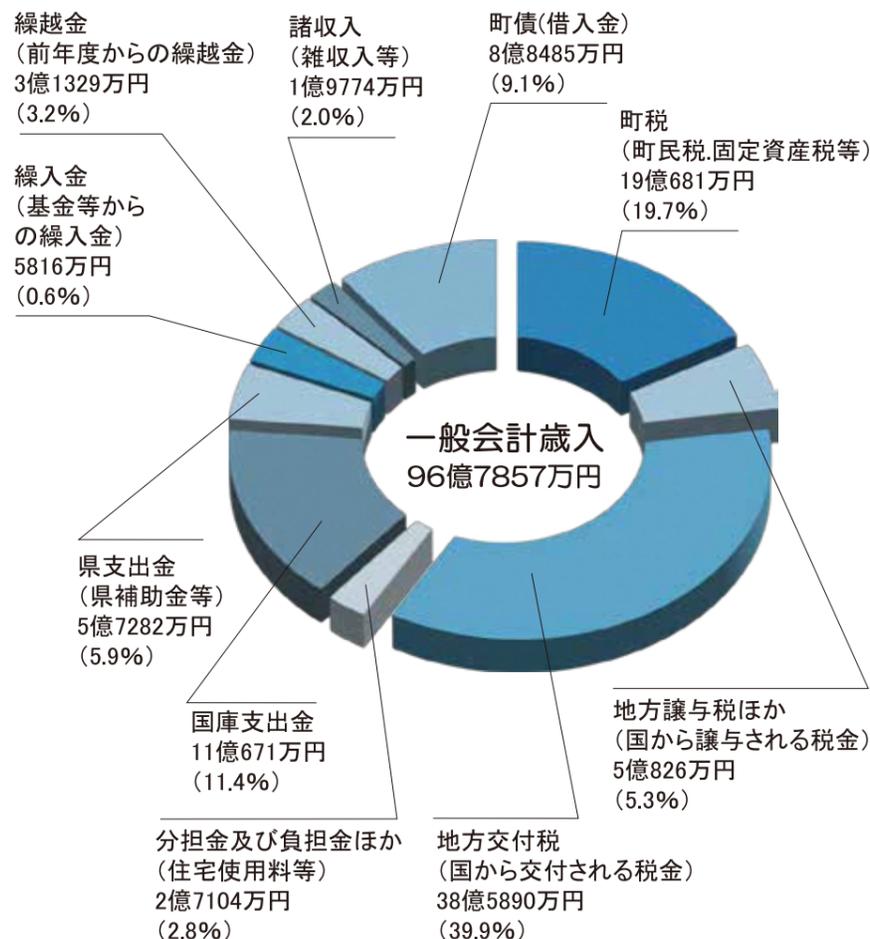
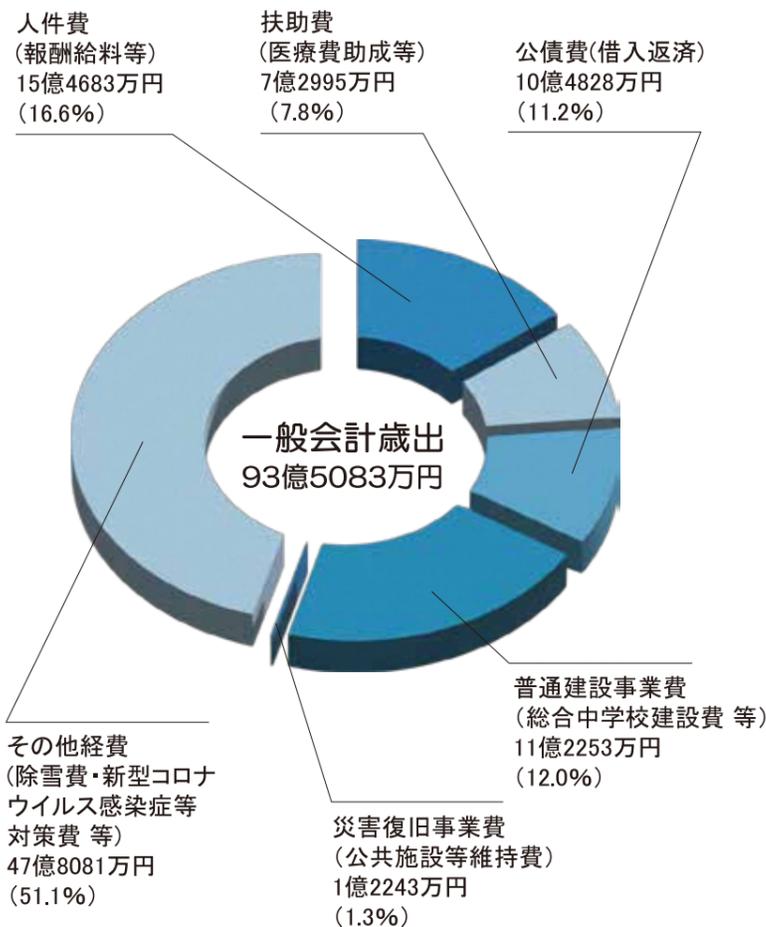
9月定例会



町民一人当たり
718,521円を
使いました。
(前年比 59,598円減)

議会費	7,578円
総務費	98,829円
民生費	116,888円
衛生費	44,969円
農林水産業費	46,727円
商工費	45,140円
土木費	109,366円
消防費	30,464円
教育費	128,605円
災害復旧費	9,408円
公債費	80,550円

※令和5年3月末人口13,014人で算定



あらまし

9月定例会は、9月4日から15日まで開催されました。町長から提出された議案は、専決処分の報告1件、令和4年度決算認定4件、5年度補正予算11件、条例の一部改正2件、過疎地域持続的発展計画の一部変更、福島県市町村総合事務組合規約の一部変更、人事案件43件、であり、すべて原案のとおり、認定・可決・同意しました。一般質問は8人の議員により行われました。

令和4年度末 町債 残高

一般会計は86億8599万円 (前年比 1億3441万円減)

※町債→大きな事業をするために借り入れるお金のこと。

区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
財政力指数	0.373 ↓	0.380	0.391
経常収支比率	88.6 ↑	85.0	89.5
実質公債費比率	10.0 ↓	10.3	10.7
将来負担比率	27.7 ↓	35.6	46.8

令和4年度 会計別決算額

会 計	歳入決算額	歳出決算額	
一 般 会 計	96億7857万円	93億5083万円	
特別会計	国民健康保険	15億9269万円	15億8481万円
	後期高齢者医療	1億9108万円	1億9071万円
	介護保険	19億1147万円	18億4725万円
病院会計	収益的収支	7167万円	7170万円
	資本的収支	348万円	348万円
水道会計	収益的収支	3億5194万円	3億3141万円
	資本的収支	1674万円	1億7209万円
下水道会計	収益的収支	6億5494万円	6億7600万円
	資本的収支	2億2745万円	4億3408万円

※単位未満の端数切り捨て。
※財産区特別会計の決算額については省略。

議長を除く14人の委員で、令和4年度決算を4件、令和5年度補正予算11件を審査しました。

令和4年度決算

【主な質疑】

一般会計

歳入

個人町民税の収入未済額822万円の内容は、

新型コロナウイルの影響により各世帯や個人収入の減少、急激に進んだ物価高の影響が生活困窮世帯を直撃したことで前年比約104万9千円の増となった。

町税が前年比1億2300万円ほど増えているが増額の要因は、

固定資産税の滞納繰越分で、コロナ禍からの景気の持ち直しがあり換価の猶予を行っていた大口からの納付で増額となった。



令和4年8月豪雨で落橋した小倉川第2橋梁

【国庫支出金】
問 災害復旧負担金が収入未済であるが令和5年度に入り、災害復旧事業が行われるのか。
答 昨年8月豪雨災による市沢地区など3か所分、昨年度中に発注済みで前払い金の支出のみ。それ以外は繰越になるため、それに係る国庫負担金が収入未済となる。

【財産収入】
問 株式会社道の駅配当金150万円の町の捉え方は、
答 昨年度の株主総会において配当が決定されたもので、剰余金について1株1500円の配当があった。
問 物品売却収入が補正額で380万円ほど増加となっているが、
答 タイヤドローザ除雪機械の売払いが、令和4年度は高額で売払いが出来たため。

歳出

【民生費】
問 負担金補助及び交付金の執行残は、
答 新生活生活支援事業補助金で6件180万円を見込んだが2件60万円の実績。
【土木費】
問 6300万円の不用額は、
答 ほとんどが除雪の民間委託料の残額。3月補正をお願いしたが、2月以降、降雪が少なかったため。



道の駅の喫煙所

問 公共施設は禁煙が法律で推奨されている。道の駅の喫煙所コーナースクリーン設置工事は必要だったか。
答 喫煙しない方まで煙が流れてしまうという苦情があった。他の道の駅等でも喫煙所があるため、喫煙所は必要であると判断した。

【翁島財産区特別会計】
問 翁島小通学路看板改修・新設補助事業繰出について財産区が原資を拠出する理由は。
答 翁島財産区については学校教育に使用しており学校教育上必要なものの一部であると理解した。
問 今後、学校が無くなると学校に対する支出が出来なくなるが、
答 管理会で話題になっているが、現段階では方向性や議論の段階に至っていない。

国民健康保険特別会計

問 こども園費の需用費376万の不用額の内容は、
答 賄材料費に関して、園児数348人で積算していたが306人であったことと、コロナ禍で休園、クラス閉鎖等があったことが要因。また、電気料値上げにより予算を補正したが節電等により残額が生じた。

問 道路橋梁費6099万円の減額は当初の計画に支障を来さないのか。
答 道路橋梁費、都市計画費、住宅費を併せての減額となり、工事の進捗への影響はある。

問 道路橋梁費は、昨年度も相当の額を減額補正したが、要望額に対する内示額は昨年度が約46%、今年度は3割にも満たない。国・県の予算配分の結果で、理由は分からない。
問 匿名の寄附200万円の使途は指定されているのか。
答 教育の振興に使ってほしいとのことで、統合小学校整備事業で160万円、統合中学校整備事業で40万円をそれぞれ、Wi-Fiのアクセスポイント設置工事の財源として活用させていただく。中学校は屋内運動場にも設置したい。

令和4年度 一般会計決算等の意見（抜粋）

【審査の対象】

令和4年度の一般会計及び特別会計（7会計）の歳入歳出決算と、公営企業会計である病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算について審査した。

審査事項の主な内容とその意見については、以下のとおりである。

【決算の規模】

一般会計が前年度比で歳入9.0%、歳出9.4%それぞれ減少、特別会計では前年度比で歳入3.0%、歳出4.4%それぞれ増加した。

また、病院事業会計は、事業収益が前年度比1.3%の増、事業費用が前年度比1.0%の増となり、水道事業会計は、事業収益が前年度比1.3%の減、事業費用が前年度比0.5%の増となり、下水道事業会計は、事業収益が前年度比2.4%の減、事業費用が前年度比8.3%の減となった。

【町債】

前年度末と比べて一般会計が1億3441万5千円の減となった。公共事業債をはじめとした各種事業債で減少したが、災害復旧事業債、一般単独事業債、過疎対策事業債が増加となった。

【基金】

財政調整基金に3億3585万9千円、教育施設整備等基金に1億104万8千円を積み立てた一方で、

統合中学校整備事業への財源措置として5119万4千円を取り崩した。この結果、前年度末に比べ全体で4億3274万円の増となった。

【意見】

審査に付された決算書及び報告書はいずれも関係法令等に基づいて作成されており、会計経理は正確である。また、予算の執行についても有効適正になされているものと認められた。前年度と比べ、新型コロナウイルス感染症対策に関する経費、統合中学校整備事業の新校舎建設工事に関する経費が大きく減少したため、一般会計では前年度と比べて9%程度減となる決算規模であった。その財源は国庫支出金などの臨時的な収入であり、町の事務事業の執行に必要な経常的な収入はほぼ確保されていることから、**財政の指針となる指数は概ね良好**であった。

また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政健全化審査については、実質公債費比率、将来負担比率ともこの基準において本町は「**健全段階**」に位置付けられる。

今後も一層の財政の健全化に努めながら、町民福祉の増進に向けた取組みがなされるよう望み、審査の意見とする。

監査委員 佐賀 要一
監査委員 五十嵐 ミエ子

令和5年度補正予算

一般会計

歳入

《分担金及び負担金》

問 教育費負担金2116万5千円の減額は、
答 埋蔵文化財包蔵地である西谷地遺跡の開発にあたり、試掘の結果、遺物や遺構が検出されなかったため本発掘が不要となったことから原因者負担分を減額。

問 《国庫支出金》
妊産出子育て支援交付金の減額は、
答 妊娠時、出産時各5万円の給付について、当初、見込んでいた正職員の給与等について補助対象外となったため291万6千円を減額。

問 道路橋梁費6099万円の減額は当初の計画に支障を来さないのか。
答 道路橋梁費、都市計画費、住宅費を併せての減額となり、工事の進捗への影響はある。

《寄附金》

問 匿名の寄附200万円の使途は指定されているのか。
答 教育の振興に使ってほしいとのことで、統合小学校整備事業で160万円、統合中学校整備事業で40万円をそれぞれ、Wi-Fiのアクセスポイント設置工事の財源として活用させていただく。中学校は屋内運動場にも設置したい。



令和5年度補正予算のつづき

歳出

《民生費》

問 子育て世帯生活支援特別給付事業の151万2千円の超過交付分返還金とは。

答 昨年度の給付事業で、150人分で予算を計上し、実績で57世帯125人に1人5万円を給付したため差額分を返還するもの。

《衛生費》

問 町立病院の照明器具交換と全自動糖分析機更新とは。

答 町立病院ホールの照明を全てLED照明に交換するもので396万円、糖分析機は経年劣化により分析データにばらつきが出ることから更新するため260万円ほど負担金を計上した。設備関係については町負担。医療機器については指定管理者と協議をする。

問 硬質プラスチック再利用にかかる委託料の増額は、資源化されれば売払うため費用がかからないのでは。

答 商品プラのリサイクルを行っている業者がまだまだ少なく、資源物から出る商品も業者が模索している状況であるため、処理料が発生している。

《農林水産費》

問 パイプハウスリース事業の確定の内容は。

答 当初100万円のパイプハウス5棟を予定していたが、資材高騰もあり1棟の実施となった。

《商工費》

問 移住定住促進補助金の増額の理由は。

答 既に支出済みや予定が7件で、不足が見込まれることから、2件分を計上する。

問 風評被害対策費1千万円近くの増額は。

答 教育旅行バス助成177台分と、旅行エージェント手数料88社分の増額。

《土木費》

問 国補助金が減額になったことから東商橋、千代田歩道橋の事業費が減額となったが、工事の完成は。

答 千代田歩道橋は今年度で完了。東商橋は要望どおり国庫補助がつけば今年度完了予定であったが、来年度に先送りになる。

問 町総合体育館LED化及び自家発電更新工事の内容は。

答 今年度はアリーナ以外の通路や会議室の照明工事となる。

《教育費》

問 千里小学校樹木伐採業務委託の内容は。

答 千里小入り口付近の見通しの確保と駐車場スペースの確保のため、校舎北側の町道地沿い学校用地内の樹木9本を伐採予定。通学路点検において、他に横断歩道2か所についても見直し、安全な通学路としたい。

翁島財産区特別会計

問 土地賃貸借契約地内の立木伐採処分は、貸付側で管理をするのか。

答 福島県に貸し付ける前から当該土地にあった樹木であるため財産区で対応する。

介護保険特別会計

問 4年度決算で1600万円ほどの剰余金が発生し、積立を行ったが、積立金の考え方は。

答 基金については6年度以降の介護保険事業計画において繰り入れをし、保険料の抑制に努める。



千里小校舎北側の樹木



議案の審議

「猪苗代町過疎地域持続的発展計画の一部変更計画」

優良堆肥製造施設堆肥倉屋根葺き替え工事、緑の村駐車場整備工事、いなわしる聖苑建築改修工事等を追加するもの。

問 緑の村駐車場整備とは。

答 20年ほど使用していない釣り堀部分を駐車場として整備しカワセミ水族館を中心に誘客を図る。

問 統合小学校の防災機能強化工事の内容は。

答 災害発生時の緊急避難場所としての機能を強化するため、壁、天井ボード、天井の器具等の落下防止や施設の機器の転落防止、配管等の破損亀裂防止工事等を行う。

問 統合小学校の水害時の防災計画は。

答 早目早目の避難、保護者への連絡等を、万全を期して対応する。

猪苗代町教育委員会委員の同意

「猪苗代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」
渡部由起子氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は令和9年9月30日。



渡部 由起子氏
(白津)



長瀬地区代表で辞令を受ける阿部吉作氏

財産区管理会委員の同意 「財産区管理会の委員の選任につき同意を求めることについて」

以下の委員全員を適任と認め、同意しました。任期は令和9年9月30日。

【千里地区】	【翁島地区】	【猪苗代地区】
小林 總一 氏 (打越)	野崎 武一 氏 (五十軒)	笹岡 正人 氏 (新町ろ)
浅野 茂 氏 (打越)	渡部 禎浩 氏 (砂川)	野澤 弘一郎 氏 (新堀向)
小林 浩信 氏 (打越)	釣巻 善宏 氏 (西真行)	神田 功 氏 (名古屋町)
安達 壽人 氏 (打越)	土屋 喜美男 氏 (東真行)	小林 淳 氏 (神明町)
小林 利浩 氏 (富永)	渡部 義正 氏 (西久保)	黒澤 孝 氏 (長坂)
相馬 裕幸 氏 (富永)	渡部 陽一 氏 (行津樹川)	遠藤 好夫 氏 (沼ノ倉)
小林 公行 氏 (富永)	渡部 英一 氏 (蟹沢長浜)	長尾 勝 氏 (土町)
【吾妻地区】	【長瀬地区】	【月輪地区】
渡部 長昭 氏 (小田)	南波 博文 氏 (幸野)	六角 元幸 氏 (山湯)
渡邊 清孝 氏 (高森)	鈴木 浩行 氏 (曲淵)	六角 一治 氏 (山湯)
遠藤 博 氏 (白木城)	渡部 正則 氏 (白津)	安部 雅広 氏 (山湯)
小椋 盛信 氏 (達沢)	本多 政己 氏 (内野)	安部 秀男 氏 (山湯)
鈴木 邦夫 氏 (木地小屋)	半澤 多市 氏 (下館)	安部 真一 氏 (山湯)
熊谷 喜一 氏 (酸川野)	阿部 吉作 氏 (荻窪)	小檜山 清一郎 氏 (湊志田)
由井 昇 氏 (大原)	五十嵐 寿満 氏 (伯父ヶ倉)	大川原 源博 氏 (上戸)

臨時会

(8月4日)

あらまし

令和5年第6回臨時会は8月4日開催され、専決処分1件、財産の取得2件、人事案件1件であり、すべて原案のとおり、可決・同意しました。

【審議した主な議案】

「専決処分の報告」

(自動車物損事故による
損害賠償及び和解)

「財産の取得について」

(除雪ドーザー11級車輪式)

取得金額1923万9千円、
納入期限は令和6年11月25日。

「財産の取得について」

(ロータリー除雪車)

取得金額5368万円、
納入期限は令和6年10月21日。

問 かなり高額となるが、新たな導入か、更新か。

答 現在使用の機械がかなり老朽化し作業効率が悪いため更新する。

猪苗代町副町長の同意

「猪苗代町副町長の選任につき同意を求めることについて」

渡部昭氏を適任と認め同意しました。
任期は令和9年8月12日まで。



渡部 昭氏
(金曲)



除雪ドーザー



ロータリー除雪車

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果	
	長友海夢	山内浩二	松江克	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	五十嵐ミエ子	後藤公男	関沢和人	金本久美子	渡辺真一郎		
猪苗代町副町長の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

※賛成：「○」、反対：「×」、議場に不在「-」、議長「議」

請願・陳情の手続き

どうやって出すの？

請願・陳情書はいつでも提出できます。
日本語で

- 1 提出年月日
- 2 請願者・陳情者の住所
- 3 請願者・陳情者の氏名(法人の場合は「名称」「代表者氏名」)
- 4 請願者・陳情者の電話番号
- 5 紹介議員名(請願のみ)
- 6 請願・陳情の趣旨を記載し、議長宛に提出。

どのように取り扱われるの？

- 1 定例会で審議されます。必要がある場合は、請願者・陳情者立ち合いのうえ現地調査を行います。
- 2 定例会は3、6、9、12月に開催され、第1火曜日に開会予定です。開会日は議会だよりや広報猪苗代、ホームページでお知らせします。
- 3 開会中に受理した請願・陳情は、緊急のものを除いて、次回の定例会で審議されます。

請願書・陳情書の記載例



議長杯ソフトボール大会

9月3日、町ソフトボール協会主催による議長杯は、残暑厳しいなか、6チームによる熱戦がくりひろげられました。

決勝戦では、「Hボンバー」を5対1で破った、「NIGHT FIGHTERS」の優勝となりました。優勝チームの皆さん、おめでとうございます。



優勝チーム「NIGHT FIGHTERS」

議長杯グランド・ゴルフ大会

9月15日、晴天の中、39名が参加し開催されました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【男子の部】1位 村澤豊、2位 新明俊廣、3位 田崎弘夫、4位 渡部昭一、5位 松坂富夫
【女子の部】1位 晴山洋子、2位 櫻田モト、3位 長命キミ子、4位 渡部久實子、5位 芥川京子



元気で楽しい声が響くカメリーナ公園

議長杯ゲートボール大会

10月8日、秋晴れの中、4チーム20名が参加し開催されました。

優勝は「大久保チーム」で、選手は以下の皆さんです。(敬称略)
大久保武男・鈴木民男・安部幸英・金作トヨ子・小檜山茂子



優勝チーム「大久保チーム」

一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

- 山内 浩二⑩
観光誘客施策
- 星野 あけみ⑪
防災・減災
- 瀧田 勝昭⑫
自然災害
- 五十嵐 ミエ子⑬
マイナンバーカード
- 佐藤 英一郎⑭
住み続けたい町にするための政策
- 大高 佐代美⑮
投票率向上
- 渡部 一登⑯
猪苗代駅周辺の今後の取り組み
- 長友 海夢⑰
地域おこし協力隊制度の活用

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。

ユーチューブ
「YouTube」も見て下さい！
猪苗代町議会は、町のホームページでの録画映像配信に加え、スマートフォン等携帯端末での閲覧ができるよう、YouTubeによる配信をしています。次ページからのQRコードをご利用ください。
Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。
※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。



やまうち こうじ
山内 浩二

質問者の動画
が見られます



【質問】観光誘客施策の取り組みは。

【商工観光課長】町内で宿泊を伴う教育旅行支援事業や、ハッピートラベルチケット発行事業の実施、観光誘客支援交付事業推進に取り組んでいる。

【質問】温泉・郷土食・歴史・里山の取り組みは。

【商工観光課長】スタンプラリー事業を観光協会に委託し観光誘客に努めている。

【質問】インバウンド観光客の状況と今後の取り組みは。

【商工観光課長】新型コロナウイルス感染症で数年事業を促進できない状況であったが、現在は外国人誘客支援金交付事業を行い誘客に取り組んでいる。

【質問】宿泊先、イベント情報の発信は。

【商工観光課長】観光協会ホームページ掲載や、パンフレット等に関連する方々に周知を依頼した。

Q. 子ども屋内遊び場施設の検討は
A. 市町村子ども計画を策定し環境整備に努める

【質問】雨の日でも子供たちが遊べる屋内施設の必要性は。

【保健福祉課長】屋内において子どもが楽しく安全に遊べる環境を整備することは重要な施策であると認識している。

【質問】現在の設置施設は満足できるのか、今後の屋内遊び場施設検討は。

【保健福祉課長】現在、新たに施設整備は予定していない。現在ある2か所について新たな遊具を設置して遊び場としての機能の充実を図っていく。



空き家利活用の例
(ゲストハウス)

Q. 観光誘客の状況は
A. 前年比 39.41%増で回復傾向にある

【商工観光課長】新型コロナウイルス感染症で数年事業を促進できない状況であったが、現在は外国人誘客支援金交付事業を行い誘客に取り組んでいる。



もっと広い遊び場を

Q. 空き家の現状把握は
A. 平成 28 年度以降追跡調査は実施していない

【商工観光課長】町ホームページ掲載、電話、相談対応説明実施、各種補助金制度を周知し、移住定住促進に努めている。

【質問】現在の空き家有効活用は。

【総務課長】平成 28 年度当時は 440 軒の空き家を確認している。今後は区長さんに地区内の状況の確認を依頼し現状把握に努める。

【質問】空き家バンクの情報は。

【商工観光課長】町内不動産業者と情報共有し、物件について関心があれば事業者へ情報提供し対応を依頼している。

Q. 防災訓練は毎年行うべきではないか
A. 今後も隔年開催で取り組んでいく

質問者の動画
が見られます



【質問】各地区での防災訓練が 12 年に一度の開催となるが。

【総務課長】小学校の統合を控えているので、例えば 3 地区一緒に行うなど創意工夫しながら取り組んでいく。

【質問】自主防災組織における研修として防災についての出前講座を活用しては。

【総務課長】年度初めの全区長会議で出前講座の案内をしている。本年度は、三城潟区・半坂区で開催した。また、吾妻地区民生児童委員定例会でも防災の話をした。より多くの町民に防災への意識と関心を持っていただくため随時対応している。



万が一に備えて、消火体験

【質問】地域防災力の向上のため、防災運動会・防災イベントの開催の考えは。

【総務課長】機会をとらえて今後検討していく。

【質問】避難所としての中学校での訓練の考えは。

【総務課長】新屋内運動場の建築・旧校舎等解体工事が 12 月末で完了した後、防災会議を経てから地域防災計画の避難所に組み込む予定。備蓄品等の準備を進めている。中学校に特化した避難訓練は予定していない。避難所の運営訓練は実施する方向で検討する。

Q. 統合における通学路整備は優先課題では
A. 今後、事業化に向けて取り組む

【質問】地域から要望のあった路線の認識と対応は。

【建設課長】路線バスの猪苗代中学校入り口停留所から猪苗代中学校までの通学路で、多くの子どもたちが通行するため、交通安全に十分に配慮すべき道路と認識している。

【質問】通学路点検によって

中学校前に新設された横断歩道。幅広い歩道整備を。

【建設課長】早急に整備するのは難しい状況にあるが、事業化に向けて考えていく。

【質問】小学校の通学路の現状は。

【建設課長】各地区課題がある。一つ一つ課題をクリアできるように前向きに実施していく。



安全に通れる歩道の確保を

ほしの
星野 あけみ



たきた かつあき
瀧田 勝昭



質問者の動画
が見られます

Q. 災害の住民への啓発や協働は
A. 住民の命と安全を確保したい

【質問】堤防の住居側が、河川の越水、決壊なしで住宅地が水害を受ける内水氾濫の事例は。
【総務課長】小黒川やサル川、北高野地区の堰などで排水能力が雨量に追いつかず氾濫を起こした事案がある。気候変動により、どこでも発生する可能性がある。
【質問】都市下水道等の内水氾濫のハザードマップの現状と考え方は。
【上下水道課長】水防法等の改正で示された内水浸水想定区域図の作成は、都市下水道、農業用水路、その他排水路等があり、関係課や関係機関と協議し、内水氾濫ハザードマップの作成に努める。当面は配布済みの長瀬川等ハザードマップで対応する。



千里地区のハザードマップ

【質問】磐梯山で昨年末に火山性地震が継続して発生し仙台区気象台が火山状況に関する解説情報を出した。町の認識は。
【総務課長】磐梯山の変動は、県災害対策課等、関係機関と対応し、町民、各事業所が活火山であると認識するよう周知し、活動状況を注視する。
警戒レベルにより、入山禁止や、スキー場関係等とも情報を共有し、万全を期す。

【質問】自治体戦略2040構想の地域生活に与える影響は。
【総務課長】総務省研究会の報告では、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、20歳代前半はその半数程度になる見通しで、若年労働力が不足し、経営資源が大きく制約される。生活関連サービス、利便性や地域コミュニティ機能に与える影響は大きい。

Q. 「まちひとしごと創生総合戦略計画」の評価は
A. 出生目標値年間100人、実績59人

【質問】住民サービスを行える職員数の確保・労働満足度、社会貢献に対する認識の醸成は。
【総務課長】自治体戦略構想の報告書で、2040年頃に日本全体の内政上の危機、人口減少と少子高齢化が進み続け、この弊害は、子育て、教育、医療、介護、インフラ、労働力などの問題が発生し、地方自治体の持続可能な住民サービスを提供する施策が必要である。

【質問】給食費の現状は。
【教育総務課長】委託炊飯の小学校で5万7300円、自校炊飯の緑小学校では5万5390円、中学校の保護者では6万4940円の負担をいただいている。

Q. 給食費の無料化を実施すべき
A. 来年4月実施にむけ準備中

【質問】学校給食の地場産食材の活用は。
【教育総務課長】米飯は、全て地元産米を利用しており、野菜などの県内地場産品の活用状況は、令和5年6月で49.04%。

【町長】令和6年の4月の実施できるよう準備を進めている。今後も学校給食の実施により、食事について正しい理解を深め、食生活を営む判断力が養われることを期待している。



健康保険証が一体化されるマイナンバーカード

【質問】健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードに一体化する。本町のマイナンバーカード登録状況は。
【町民生活課長】令和5年8月31日現在1万724件で、町民全体の81.6%である。
【質問】マイナンバーカードと保険証の一体化によるトラブルで、カードを返納する動きがあるが。
【町民生活課長】全国で、マイナンバーカードの返納が発生しているが、本町では現在のところない。

【質問】トラブル発生と対応策は。
【町民生活課長】住基システムと連動して保険証のデータの作成しており、現在、発生していない。発生した場合には、国保連合会と連携し、その確認作業を進めたい。

【町長】国が国策として、DX化を進める中で、軽々に元の健康保険証に戻すというのも考えづらいところである。



いがらし みえこ
五十嵐 ミエ子



質問者の動画
が見られます

Q. 保険証発行を継続する立場で国への意見を
A. 今のところ考えていない

【町民生活課長】住基システムと連動して保険証のデータの作成しており、現在、発生していない。発生した場合には、国保連合会と連携し、その確認作業を進めたい。



小学校の給食の様子



さとう えいいちろう
佐藤 英一郎



質問者の動画
が見られます

Q. 二瓶町政が掲げる住み続けたい町とは
A. 豊かな自然と観光資源を活かし商業と工業をバランスよく発展させる町

【質問】活気ある町にするための施策とは。

【町長】中央商店街の再生とJR猪苗代駅の周辺整備を優先して取組み、そこに活路を見出していきたい。年間100万人の来客数がある道の駅猪苗代からのようにして中央商店街に人の流れを呼び込むか、地元工商业者の皆さんと意見交換しながら一緒に考えていきたい。

【質問】町民が安全・安心を肌で感じられるまちづくりとは。

【町長】安心して子どもを育てることが出来る環境の整備はもちろん、高齢者の方にも生きがいを見いだしてもらえ、ような方策を打ち出していくことが大変重要であると考えている。

【質問】学校と地域、家庭が緊密な連携を取って、健全な育成に取り組むとあるが、その施策とは。

【町長】こども園や中学校のハード面における環境整備はほぼ完了し、小学校の統合についても、着実に進んでいる。これからは未来を担う子供たちへのソフト面の支援を重視した施策を展開し、健全な人材育成に取り組み。具体的には家庭における教育費負担軽減のため、保育料無料化や、学校給食費の無償化などを実現したい。



Q. 廃校後の活用状況は
A. 検討委員会を立ち上げ検討する

【質問】旧々役場跡地・旧役場跡地・統廃合後の学校施設の活用現況及び活用計画は。

【企画財務課長】旧々役場の現況は更地となっており、磐梯まつりなどの利用・冬期間の雪置場として利用している。

【商工観光課長】旧役場跡地は磐梯まつりの会場や、イベント時に利用がある。

【教育総務課長】関係課で構成する廃校活用検討委員会を立ち上げ、活用の方針案を作成、地域住民の方々にも相談をさせていただき活用を図る。

【質問】町有財産の活用については、外部からの人材を招へいするなどし、角度を変えて検討していくべきでは。

【商工観光課長】行政だけでなく地域の声を聞いていく必要がある。



旧吾妻中学校

Q. 「1人でも誰でも通園制度」の実施は
A. 一時預かり制度を拡充して対応する

【質問】一時預かり制度の内容と現状は。

【町長】子育て支援に対しては、安心して産み育てる環境を整備し、保護者の経済的負担の軽減も積極的に取り組んでいく。

【質問】保護者の育児休暇取得後、家庭での保育が困難と認められた場合、継続保育が可能とされている。もう少し申請しやすい、受け入れ体制が必要では。

【こども課長】まずは担任の先生や園に自主的に相談して頂きたい。また、各こども園には子育て支援センターを設置している、気軽に相談していただきたい。



改善の要望がある投票所

【質問】投票所の改善は。

【選挙管理委員長】比較的大きな投票所は、バリアフリー化を行っているが、全て対応できていない。

【質問】主権者教育の必要性は。

【選挙管理委員長】若い世代が国や社会の問題を自分の問題として捉え、考え、判断、行動することが、新時代を担うために大変重要だと考える。そのためにも、町教育委員会、町各学校と連携し推進している。



おおたか さよみ
大高 佐代美



質問者の動画
が見られます

Q. 町長選挙の年代別投票率の把握は
A. 町単独の選挙については把握していない

【質問】投票率低下への見解は。

【選挙管理委員長】他の選挙も低下している中で、想定内に抑えられたと分析している。

【質問】投票率向上への啓発活動は。

【選挙管理委員長】コロナの分類変更直後で、十分に行わなかったが、広報及びホームページに掲載し、防災無線にて行なった。

【質問】選挙公報の現状は。

【選挙管理委員長】主に新聞折り込みにて配布している。

【質問】新聞未購読の方への対応は。

【選挙管理委員長】役場、体験交流館、図書歴史情報館及び町の7ヶ所の郵便局へ備え置いた。また、町ホームページにも記載した。



ひまわりこども園の一時保育室



わたなべ かすと
渡部 一登



質問者の動画
が見られます

Q. 今後予定している猪苗代駅周辺の整備計画は
A. 現在町としての具体的な整備計画はない

【質問】町長の考えるこれらの駅前整備のビジョンは。
【町長】観光地の玄関口として、来た人が、非常にがっかりするだろうなと感じている。今空いている空き地に花を植えお年寄り子どもたちの接点になるような場所を整備したい。また株式会社ISホールディングスとの包括連携協定でも検討事項となっているので同社と協議を重ねて、地元関係者の意向も伺いながら、猪苗代駅前周辺の整備について取り組んでまいりたい。
【質問】町長が考える整備にかかる具体的な時期はいつ頃なのか。
【町長】現段階でお答えできる時期は明確には申し上げられないが、できるだけ早い時期に方向性を出していきたい。



整備が期待される旧会津バス

【質問】猪苗代駅のバリアフリーの取り組みについて、国の補助金を使って行政との整備をしている自治体もあるが、本町としても実現できないのか。
【企画財務課長】観光地の玄関口として対応が必要と認識しているが、構内のバリアフリー整備については、基本的にはJRで対応していただく内容である。しかし現在の対応状況や課題の状況把握をし、JRへの要望活動の際には猪苗代駅のバリアフリー化を推進したい。



改修工が必要な配管

Q. 水道事業の改修工事の補助金はないのか
A. 改修・修繕への国や県からの補助金はない

【質問】上水道の配管は施行され何年経過して、今の状況は。
【上下水道課長】昭和29年供用開始から69年が経過している。法定耐用年数が40年であるが漏水等がなければ、通常、実務上更新基準として60年を超えた管路は総延長の約13%で、延長にすると約32キロメートルである。
【質問】これからの維持管理のためには使用料の値上げが必要なのか。値上げが必要な場合はいつ頃なのか。
【上下水道課長】料金収入、また使用料等だけではなかなか更新が追いついていないのが現状であり、現在、料金改定に向けて検討している段階である。また改定時期についても、現在はまだ未定ではあるが、できるだけ早い段階で予定したい。



ながとも ひろむ
長友 海夢



質問者の動画
が見られます

Q. 地域おこし協力隊制度の活用状況は
A. 隊員を過去18名任用、10名が定住している

【質問】隊員募集の予定は。
【企画財務課長】各課へ協力隊の設置要望について、照会している段階。活動目的を明確にしたミッション型での募集を予定しており、地域課題解決や地域活性化に繋がりたいと考えている。
【質問】募集の開始時期が遅いのは。
【企画財務課長】予算との関係もあるが、できるだけ早い時期に募集ができるよう対応していきたい。
【質問】人材確保の戦略は。
【企画財務課長】若い世代にはSNSでの情報発信が有効と考えており、活用について今後検討していきたい。



地域おこし協力隊制度の概要
(総務省ウェブサイト)

【質問】フリーミッション(※1)や起業型での募集予定は。
【企画財務課長】現状はこれまで通りミッション型を基本としつつ、フリーミッションや起業型についても前向きに検討していきたい。
【質問】任期満了後の定住までのルート整備は。
【企画財務課長】地域での起業や就職などは、現状難しい状況ではあるが、猪苗代町に残って頂けるよう、就業場所の情報提供など、積極的に行っていきたい。
【質問】制度の活用について町長の考えは。
【町長】地域の課題解決や、定住・交流人口の増加にも繋がるものと考えている。積極的に活用し、地域の活性化を図っていきたい。

(※1)フリーミッションとは
協力隊自身がミッション(使命・任務)を見だし、方針を自由に設定できる。

Q. 『ふるさと納税』制度の実施状況は
A. 寄付額がここ数年約1億円で推移している

【質問】寄付額を増加させるための取組は。
【企画財務課長】ふるさと応援納税電子クーポン事業を開始し、前年度は4か月という短い期間で約1千万円の実績があり、本事業の伸びしろに期待している。
【質問】ガバメントクラウドファンディング(※2)の活用は。
【企画財務課長】活用次第では様々な可能性があると思う。どのような事業がマッチするのか、先行事例等も踏まえ、調査研究したい。

(※2)ガバメントクラウドファンディングとは
自治体が抱える問題の解決に向けた事業を具体的にプロジェクト化しそれに共感いただいた方から寄附金として支援をいただく。

Q. 空き店舗の活用状況は
A. 補助制度を設け、活用の促進を進めている

【質問】補助対象エリアの再検討の予定は。
【商工観光課長】商業流通形態の変化など外的要因と、後継者不足などの内部的要因もあることから、対象範囲の拡大の必要性についても、関係団体と協議をしていきたい。



補助金制度を活用した空き店舗

委員会レポート

文教厚生常任委員会

〔概要〕
住みたくなる町を目指して、39年前に写真の町を宣言し文化的なブランドイメージ作りを進めており、定期的に移住イベントを開催している。このため移住者がどんどん増え人口は常に微増し続けている。情報発信の方法としてITを活用し、補助・支援金など様々な移住支援を実施している。また、移住に至らないまでも町の関係人口を増やすことを大切にしている。

地域おこし協力隊は、現在63名が活躍しており、これは全国でトップの雇用数であり、隊員は明確な目的を持って意欲的に仕事を行っている。

廃校の利活用

〔猪苗代町の現状〕
旧東中・吾妻中について文部科学省「みんなの廃校プロジェクト」に登録、町ホームページや広報誌により活用方法について意見を募集。社会教育や合宿・スポーツイベント、工場などの活用提案がある。今後は、施設の基本的な活用方針案を策定し、地元説明会により意見を伺うなど活用に向けて進捗を図るとしている。

〔小野町（文書照会による調査）〕
「行政の資本が一切入らない、民間による廃校利活用・地域活性化」を進めている。事業の目的は、①農業の6次産業化を通して地域が抱える「人」「物」「仕事」の問題解決を図ること等②スポーツや趣味の体験型観光の宿泊拠点として「交流人口」を増やすこと。

趣味複合施設



小野町旧飯豊小学校を活用したイトコ

〔意見〕
小野町のように、趣味複合観光としての利用方法がある。建築が昭和49年と古く、将来的には取り壊し等の問題が生じるが、現在の利用の仕方としてはあってしかるべきだ。閉校から賃貸借契約までの流れがスムーズで、スピード感は重要である。本町については、行政財産として使用するか、普通財産として貸し付けするか、「施設の基本的な活用方針（案）」を早期に策定し、方針の決定を急ぐべきである。

〔意見〕
団の使用を条件とした。また、県立小野高校の「高校生レストラ」開設により、町が取り組む「発酵の町づくり」事業に貢献。町の活性化が図られている。

総務常任委員会

移住定住・地域おこし協力隊・ふるさと納税

〔北海道当別町〕
ふるさと納税の取り組みとして、ポータルサイトの活用拡充を図り、昨年度には29億5千万円の過去最高額を更新している。返礼品はロイズチョコが人気で、町の年間予算のうちふるさと納税による寄付金が町税を上回る歳入額となっており、主な事業として統合校新設や駅前開発に支出している。

〔意見〕
東川町では豪雪地域であることや大きな仕事場が無いハンデを移住者への支援を厚くすること克服している。本町でも町独自の支援策を設けることで他市町村との差別化を図り、選ばれる地域となることを望む。

地域おこし協力隊は、多くの隊員を採用することで、行政サービスの向上や、移住に繋がる可能性も高いと考えられる。

ふるさと納税の取り組みとしては、ポータルサイトの充実や返礼品の見せ方を良くするなど寄付者目線に応じた対応が求められる。財源としても大切なものがあるため、寄付者から猪苗代町が選ばれるような一層の取り組みが必要だと考える。



写真の町、東川町を紹介するパンフレット

〔概要〕
平成28年に開業した道の駅猪苗代は、①あらゆる災害に対応した防災機能、②地域間交流や周辺観光情報提供、③地場産品の販売とブランド認知度の向上を特徴とした道の駅で、令和4年度には年間100万人、累計でも500万人の来場者数を記録した。

また、令和3年度には防災道の駅に選定され、広域的な防災拠点としての役割も期待されている。

防災道の駅への選定を契機に、更なる地域創生のための取り組みを官民で検討する道の駅猪苗代地域創生推進協議会（以下、「推進協議会」）が設立された。

道の駅の現状と今後の施設整備

〔意見〕
来場者数が高い水準で推移していることは、本町のみならず、会津の玄関口としての役割を十分に果たしており、今後も来場者に喜ばれ、地域経済の一端を担う施設としての更なる発展を望む。

また防災道の駅は、広域的な防災拠点として非常に重要な施設なので、国県の施策に町も積極的に関与し、有事の際にはその機能が十分に発揮されるよう努められたい。

なお、駐車場の拡張が当面の課題と思われるので、WGや推進協議会を定期的に開催し、計画的に課題解決に取り組むことで最大限に機能を発揮し、先進的な道の駅としてこれまで以上に広くPRできる施設となるよう期待する。

経済建設常任委員会

〔概要〕
協議会には3つのWG（ワーキンググループ）があり、防災拠点WGは広域的な防災拠点の機能強化のための施策を、交通拠点WGは二次交通等の充実を、地域活性化WGは観光・地域振興のための施策をそれぞれ検討している。

また、本年6月には医療・防災産業創生協議会による高機能・高付加価値コンテナの実装デモが実施されるなど、防災道の駅としての先進的な取り組みも始まっている。



実装デモの様子

〔意見〕
今後の施設整備は推進協議会の決定を基に進めていく。

会津耶麻町村議会議長会 地方自治研究交流セミナー

今年度、福島県町村議会議長会主催のセミナーを受講しています。

講演後は4町村の議員による熱いディスカッションが繰り広げられています。

- 「中山間地域における地域づくり戦略とは」
（福島大学経済経営学類 准教授村上早紀子氏）
- 「地方自治と自治体・議会のデジタル化」
（福島大学経済経営学類 准教授藤原遥氏）



○「地方議会と住民参加」
（福島大学人間発達文化学類 教授牧田実氏）

議会広報編集特別委員会 全国町村議会広報クリニック

町村議会広報研修会が日経ホールにて開催されました。弁護士玉置菜々子氏による「広報担当者が知っておきたい法律知識」、メディアプランナー白木一誠氏による「なるほどそうか・・・知ってよかった！読者を夢中にさせる広報誌づくりの基礎の基礎！」、グラフィックデザイナー平本久美子氏による「パッと伝わる広報誌に！やってはいけないデザイン講座」を受講しました。

今回学んだ「読まれる広報誌づくり」に欠かせない多くのポイントを反映し、わかりやすく伝わる議会だより作成に努めてまいります。



のポイントを反映し、わかりやすく伝わる議会だより作成に努めてまいります。



わたしたちの町



「最初で最後の こてきパレード」

すずき なな さん
鈴木 菜那 さん
(千里小6年)

七月三十日、私にとって最初で最後のこてきパレードがありました。本番に向けて昼休みや、夏休みも練習をしました。とても暑くて大変だったけれど、いい音楽にするために一生けん命がんばりました。
本番当日は、たくさんのお客様がいて、きん張りました。千里小の演奏が始まるじ、「大きな音を出さなきゃ。」
と思い、せいっぱいアルトサックスをひきま



た。観客のみなさんは、手びょうしをしてくれたり、おうえんしてくれたりしました。一生けん命がんばってよかったなと思いました。
「コナのえいきよつでずっと出来なかったこてきパレードに参加できて本当に良かったです。この思い出を大切にしてください。中学校でもがんばります。」

私が住んでいる猪苗代町は「笑顔」であふれる町です。
春、夏、秋、冬それぞれの魅力があり、春には、川沿いに桜や菜の花が一面に広がりとてもきれいです。
夏には、日本で四番目に大きい猪苗代湖でキャノンやサイクリング、マリンスポーツで楽しむことが出来ます。
秋には、日本百名山の磐梯山が紅葉できれいに彩られます。毎日、色々な姿が違つように見える磐

梯山は、いつ見てもあきません。
冬には、猪苗代湖にたくさん白鳥が来ます。そして、冬の始まりを知らせてくれます。雪がたくさん降るので、スキーやスノーボードを楽しめます。私は、雪遊びやスキーができる冬が一番好きです。
毎日、「笑顔」になれる魅力がある猪苗代町が私は大好きです。

「猪苗代町の魅力」

なま え ま さん
生江 笑満 さん
(吾妻小6年)



傍聴においで下さい

**12月議会は
12月5日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日:11日(月)・12日(火)】

※質問者・質問内容については12月1日以降に町のホームページに掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

町高齢者作品展 議会議長賞!

鈴木勝子さん(打越)の文化刺繍「七福神」

今号の表紙

今年の野口体育祭は6校で最後の開催となりました。自分の記録のため、仲間のため精一杯がんばりました!

議会広報編集特別委員会

議長	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
渡辺真一郎	星野あけみ	渡部一登	松江克	山内浩二	長友海夢	鈴木元	長澤操

編集後記

この度、議会広報編集特別委員会の一員になりました。残暑が続いておりましたが、日々秋らしい気候になってまいりました。山のサルは元気に山から下りてきて食糧をさがし、それを見て花火で追い掛け回す日々が続いております。▼津全域、季節外れインフルエンザで集団感染傾向です。手洗い・マスク着用・せきエチケットを心掛け、原因となるウイルスを体内に侵入させない、周囲にうつさないことが重要です。▼これから、冬に向けての準備で忙しくなる季節になります。コロナ、インフルエンザに感染しないよう健康管理をして毎日を明るく、楽しく過ごせるようにしましょう。▼住みたくなる町づくりのために、皆様からご意見をいただき、前向きに取り組んでまいりますので、ご支援とご愛読をよろしくお願い申し上げます。

山内 浩二